

令和4年3月1日
交流推進担当部
交流推進担当課

世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会の取組みについて

1 経緯等

区は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）で区を訪れる方々を「オール世田谷」で温かくお迎えする取組みや大会後のレガシーである「共生のまち世田谷」の実現に向け「世田谷おもてなし・交流・参加プロジェクト」を立ち上げた。また、官民が連携した事業を円滑に進める推進役として「世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会」（以下「実行委員会」という。）が設立され、区民からの提案事業をはじめとした実行委員会事業を実施してきた。

新型コロナウイルス感染拡大により対面での交流活動が大きく制限される中、東京 2020 大会開催が1年延期され、馬術競技は無観客での開催となる等当初の想定とは大きく状況が変わった。そのため、実行委員会事業の実施においては感染対策を徹底し、オンラインを活用する等工夫を行い、アメリカ合衆国選手への応援やコロナ禍での応援メッセージとなるよう区民の参加を基軸に活動を展開した。

2 世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会の概要

(1) 実行委員会設立趣旨

東京 2020 大会をきっかけとして世田谷区が一体となり取組みを進め、その経験を大会終了後も市民活動や地域交流につなげ、多様性を尊重する世田谷の特色を伸ばし、次世代を担う子どもたちへの応援となる取組みを推進する。

(2) 実行委員会の役割

実行委員会は、東京 2020 大会に向けて、大会開催までの限られた時間の中で官民が連携し、大会の気運醸成や世田谷区を訪れる方々を温かくお迎えする取組み等をオール世田谷で進める推進役を担う。

(3) 実行委員会委員及びプロジェクト賛同団体数、設立月日

①実行委員（令和4年3月1日現在）

委員長	保坂 展人	世田谷区長
副委員長	大場 信秀	東京商工会議所世田谷支部 会長
副委員長	桑島 俊彦	世田谷まちなか観光交流協会 会長
委員	穴戸 幸男	世田谷区内農協協議会 会長
委員	片平 三郎	公益社団法人世田谷区工業振興協会 会長
委員	神保 和彦	一般社団法人東京都信用金庫協会 前会長
委員	芹澤 良明	世田谷区民まつり実行委員会 委員長
委員	三羽 和彦	世田谷区町会総連合会 会長
委員	青柳 正規	公益財団法人せたがや文化財団 理事長
委員	石崎 朔子	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団 理事長
委員	近藤 賢二	公益財団法人世田谷区産業振興公社 理事長

②プロジェクト賛同団体：125団体（令和4年2月16日現在）

③設立月日：令和元年10月10日

④実行委員会事務局：世田谷区産業振興公社

(4) 主な実行委員会事業

新型コロナウイルス感染拡大により、対面での交流が制限される状況であった。そのため実施方法を見直し、オンラインを活用したパフォーマンスの実施や区民参加によるメッセージの発信等、接触を避け、感染防止を徹底し事業を実施した。

＜実行委員会事業内容＞

①世田谷スーパーエール (資料6ページ)

②めぐれ！世田谷の灯プロジェクト～世田谷ピースランタン～ (資料12ページ)

③世田谷・綿花プロジェクト～彩ろう！ワタたちの世田谷～ (資料17ページ)

④折り鶴プロジェクト～認知症当事者のための社会参加型プログラム事業～ (資料19ページ)

⑤広報・PR (資料23ページ)

【中止】世田谷スーパーパレード2020

【中止】コミュニティライブサイトでの賑わいイベント

3 東京2020大会以降の取組み

(1) 実行委員会は、「心ひとつに」「共に楽しむ」「新型コロナウイルスの危機を乗り越え、まちに再び活力を」という視点に基づき、東京2020大会の開催までの期間「オール世田谷」で「おもてなしプロジェクト」に取り組む推進役としての役割を務めた。今後は、実行委員会や実行委員会事務局が主体となり事業を推進するスタイルから、賛同団体が相互につながりを持ち、実行委員会設立趣旨にある世田谷の特色を伸ばし市民活動や地域交流に発展するよう各団体が主体的に取り組むを進める。

(2) 区は、アメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンの取組みをはじめ、様々な分野における取組みをレガシーとして引き継ぎ「共生のまち世田谷」の実現を目指す。

(3) 「区制100周年に向けてのスタートアップの年」とする令和4年度以降の区の取組みにおいて、区民、事業者、区が連携し参加と協働により推進した経験を継承し、コロナ後を見据えた持続可能な社会の実現を目指す。

4 おもてなし・交流・参加実行委員会の開催

実行委員会は、東京2020大会に向け「オール世田谷」で取組みを進める推進役としての役割を務めた。そのため、令和4年3月18日に「おもてなし・交流・参加実行委員会」を開催し、実行委員会の設立趣旨を確認するとともに、これまでの活動の総括を行う。

世田谷おもてなし・
交流・参加実行委員会
活動内容

2022年3月

世田谷区交流推進担当部

1. 世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会の概要

1.1 設立経緯

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）の馬術競技が馬事公苑で、アメリカ合衆国選手団の事前キャンプが区立総合運動場（大蔵運動場）で、それぞれ実施されることが決定した。区は、区民をはじめ馬術競技の観戦等で区を訪れる方々を、区民や事業者と連携し“オール世田谷”でお迎えする取組みや、大会終了後も地域の資産となるレガシーを残していく取組みを、より一層具体的に進めるため、世田谷おもてなし・交流・参加プロジェクトを立ち上げた。

2019年10月10日に、同プロジェクトのうち官民が連携して行う事業の推進役として、世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会（以下「実行委員会」という。）が発足した。世田谷を盛り上げる区民の熱い思いを“おもてなし”として広め、多様性を尊重する世田谷の特色を伸ばし、次世代を担う子どもたちの応援になることを目指し、その趣旨に賛同した方々により主体的な民間団体として立ち上がった点が特徴である。

同日には、実行委員会の活動への賛同を区内団体・企業等に直接呼びかける「キックオフミーティング」が開催され、“オール世田谷”で事業を推進していく体制が整った。

1.2 組織体制

委員長	世田谷区長	保坂 展人
副委員長	東京商工会議所世田谷支部会長	大場 信秀
	世田谷まちなか観光交流協会会長	桑島 俊彦
委員	世田谷区内農協協議会会長	宍戸 幸男
	公益社団法人世田谷工業振興協会会長	片平 三郎
	一般社団法人東京都信用金庫協会前会長	神保 和彦
	世田谷区民まつり実行委員会委員長	芹澤 良明
	世田谷区町会総連合会会長	三羽 和彦
	公益財団法人せたがや文化財団理事長	青柳 正規
	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団理事長	石崎 朔子
	公益財団法人世田谷区産業振興公社理事長	近藤 賢二

（敬称略）

事務局：公益財団法人世田谷区産業振興公社

2. 世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会事業の概要

2.1 事業方針

- ・実行委員会の基本理念として掲げた「皆で心をついに」、「共に楽しむ」、「本物に接する」を実現するため、アメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンの趣旨も踏まえた事業を計画した。
- ・実行委員会主催事業と合わせ、賛同団体を始めとした多くの事業実施者や参加者により、様々な交流事業が展開され、東京 2020 大会の気運醸成や大会をきっかけに世田谷区を訪れる方々に“オール世田谷”でのおもてなしを提供することを目指した。
- ・事業の成果を、大会終了後も引き続き、地域の活性化や障害理解、多様性尊重につなげ、東京 2020 大会のレガシーとして受け継いでいくことも大きな目標とした。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、東京 2020 大会の一年延期、延期後の開催においても無観客が原則となるなど、実行委員会事業についても大きな変更が必要となり状況に応じた事業を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症に対して感染防止を徹底し、設立趣旨を貫きながら、まちを元気にしていくということ、新たに実行委員会のテーマとして追加した。
- ・対面での交流が制限され、多くの事業が中止や延期をせざるを得ない状況となったが、規模の縮小や感染対策の徹底、オンラインの活用など、手法を見直したうえで事業を実施した。

2.2 事業構成

○世田谷スーパーエール

- ・世田谷スーパーパレードの代替イベントとして、区内の活動団体のパフォーマンスを動画配信する形式で 2020 年 12 月、2021 年 7 月～8 月に実施

○めぐれ！世田谷の灯プロジェクト～世田谷ピースランタン～

- ・当初予定していた 2020 年 6 月の開催を延期し 2021 年 10 月、11 月に実施

○世田谷・綿花プロジェクト～彩ろう！ワタしたちの世田谷～

- ・賛同団体からの提案企画として 2021 年度に実施

○折り鶴プロジェクト～認知症当事者のための社会参加型プログラム事業～

- ・賛同団体からの提案企画として 2021 年度に実施

○実行委員会ニュースレター『SOKS 通信』

- ・2020 年 2 月から 2022 年 3 月まで全 22 号を発行

○ラジオ番組『世界に届け！世田谷おもてなしプロジェクト』

- ・2020 年 3 月～2021 年 9 月まで全 79 回放送（うち再放送 37 回）

○【中止】世田谷スーパーパレード（2020 年 5 月 3 日開催予定）

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催を中止

○【中止】コミュニティライブサイトでの賑わいイベント

- ・区コミュニティライブサイト事業が中止されたため本事業を中止

3. 個別事業実績

3.1 世田谷スーパーエール

(1) 目的

区内活動団体の演技・演奏によるパフォーマンスを動画で公開することにより、コロナ禍で苦しむ区民や医療従事者、区内事業者にエールと感謝を贈り、この状況をオール世田谷で乗り越え、まちに活力を取り戻す。

※多くの方が視聴できるよう YouTube に「世田谷おもてなし」チャンネルを開設し、動画を投稿した。

(2) 事業内容

①世田谷スーパーパレード【中止】

- ・世田谷区内を中心とした学校、団体、事業者のプロアマ集団による多様なパフォーマンスを盛り込んだ世田谷オリジナルの参加型パレードとして企画した。
- ・東京 2020 大会開催年である 2020 年 5 月 3 日に、三軒茶屋～下北沢間の茶沢通りで開催するため、出演団体等との調整など準備を進めた。
- ・ポスター掲示など実施に向けた活動が本格化していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期とした。しかし、延期後も開催の見込みが立たず、世田谷スーパーエール事業として内容を変更して実施した。

②メッセージ動画配信

- ・パレード参加予定団体からメッセージ動画を募集し、6 団体のメッセージ動画を 2020 年 10 月に公開した。
- ・主なメッセージとして、コロナ禍でも工夫を凝らし活動を続けていること、区民に向けたエール、演技・演奏の機会を求める声などが寄せられた。

<参加団体（順不同）>

国土舘大学吹奏楽部／駒澤大学吹奏楽部／世田谷区バトン協会下馬 L. M. C.
／世田谷区民吹奏楽団／東海大学吹奏楽研究会／日本大学吹奏楽研究会



国土舘大学吹奏楽部／駒澤大学吹奏楽部／世田谷区民吹奏楽団



世田谷区バトン協会下馬 L. M. C.



東海大学吹奏楽研究会



日本大学吹奏楽研究会

③世田谷スーパーエール 2020-2021 @LAST 世田谷区民会館

- ・6団体のパフォーマンスを収録し、2020年12月に動画を公開した。
- ・コロナ禍において、各団体への演技・演奏の機会を提供した。
- ・世田谷区民会館改修前の最後の公演となったため、区民会館の歴史を写真でたどる動画も公開した。

<参加団体（順不同）>

ガバーガバ（世田谷区民合唱団有志）／駒澤大学吹奏楽部／下北沢成徳高等学校ダンスドリル部 Twinkle Bounds／世田谷区バトン協会下馬 L.M.C. シニアチーム・ジュニアフレンズチーム／世田谷区民吹奏楽団／日本女子体育大学附属二階堂高等学校ダンス部



ガバーガバ（世田谷区民合唱団有志）



駒澤大学吹奏楽部



下北沢成徳高等学校ダンスドリル部
Twinkle Bounds



世田谷区バトン協会下馬 L.M.C.
シニアチーム・ジュニアフレンズチーム



世田谷区民吹奏楽団



日本女子体育大学附属
二階堂高等学校ダンス部

<参加者の声>

- ・過日は素晴らしい舞台をご用意いただきまして誠にありがとうございました。力及ばずの点多々あったことと思いますが、スタッフの皆様方に支えられて、何とか

役目を果たせたかな、と思っております。収録結果を楽しみにしております。(ガバ―ガバ代表)

- ・ 先日は世田谷スーパーエールに参加させていただき、ありがとうございます。このような状況下で貴重な機会をいただき、生徒たち自身、活動への活力をいただくことができたと感じております。ありがとうございました。動画楽しみにしております。(下北沢成徳高等学校ダンスドリル部顧問)
- ・ 世田谷区民会館でのスーパーエール舞台演技では大変お世話になりました。今年初めてとなりますイベントでした。保護者以外の方々の前で演じることが無く、子供達もかなりの緊張感でいっぱいだったようでした。ですが、会場での手拍子をいただき、温かい雰囲気包んでくださり心地良く演じることができました。演じ終わったときには、達成感と安心感とそれぞれの反省があったようです。とても良い経験をさせて頂きましたこと、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。
(世田谷区バトン協会下馬 L.M.C. 指導者)
- ・ 世田谷区のイベントに参加させていただき本当にありがとうございました。運営するにあたり様々なご配慮を頂きとても感謝しております。また、照明に関しても無理なお願いにも応えていただきありがとうございました。生徒達は久しぶりに照明がついた舞台上で踊ることが出来、とても感動していました。このような状況の中ではありますが、皆様のご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。また、来年度も何卒宜しくお願い致します。(日本女子体育大学附属二階堂高等学校ダンス部顧問)

④世田谷スーパーエール 2021

- ・ 三茶しゃれなあどホール、日本大学文理学部百周年記念館アリーナ、参加団体各校などを会場に感染対策を徹底し、各団体のパフォーマンス収録を行い、2021年7月～8月に計11本の動画を公開した。
- ・ 世田谷スーパーパレードのスタート、ゴール予定地であった下北沢・三軒茶屋の両商店街理事長、保坂実行委員長の三者トークセッションによる、地元の魅力やコロナ禍での取組みなどを紹介した。
- ・ 演技・演奏以外に、「誰かに送りたいあなたのエール」を区民等から幅広く募集。寄せられた1,200件以上のメッセージで世田谷区ホストタウン・共生社会ホストタウンロゴマークのモザイクアートを制作した。制作の様子や届いた全てのメッセージを紹介した。
- ・ ダイジェスト版はアメリカ合衆国選手団のキャンプ地となった総合運動場施設内で上映し、モザイクアートの実物も展示した。
- ・ 国本女子中学校・高等学校吹奏楽部には、東京2020パラリンピック聖火リレー関連企画にご協力いただくなど、本事業で生まれた新たな繋がりが世田谷区の事業にも引き継がれた。

<参加団体（順不同）>

S.S.Blue Bunnies（キッズダンス）／国本女子中学校・高等学校吹奏楽部
 ／三茶わん（三軒茶屋銀座商店街振興組合）／昭和女子大学附属昭和高等
 学校ダンス部／世田谷区民吹奏楽団／筑波大学附属駒場中・高等学校筑駒
 Jugglers／東京都市大学付属中学校・高等学校吹奏楽部／東京都立桜町高
 等学校ダンス部／東京都立深沢高等学校和太鼓部／WONDER BEATS feat. テ
 ィーチャーズ！



トークセッション



モザイクアート制作



世田谷スーパーエール 2021
 ダイジェスト版



三茶わん & S.S.Blue Bunnies



国本女子中学校・高等学校吹奏楽部



昭和女子大学附属昭和高等学校ダンス部



世田谷区民吹奏楽団
 &



筑波大学附属駒場中・高等学校
 筑駒 Jugglers

WONDER BEATS feat. ティーチャーズ！



東京都市大学附属中学校・高等学校
吹奏楽部



東京都立桜町高等学校ダンス部



東京都立深沢高等学校和太鼓部

<参加者の声>

- ・学校に収録に来てくださり、生徒たちも喜んでいました。活動のモチベーションアップにもつながりました。一瞬雨がやんで、幸運にも撮影できたこと、奇跡を感じました。多くのスタッフの方々の熱意が、ミラクルを起こしたのだと思います。新型コロナウイルスがあつて、子どもたちも気持ちが低下し、実はかなりの生徒が退部してしまいました。そんな中で今回のような素晴らしい企画に参加させてくださり、生徒たちも大喜びでしたし、ちょうど打合せに来ていた、保護者の代表も約2年ぶりにフェイスシールドをとった子どもたちの演奏を見られて涙を流されていた方もおりました。私も生徒たちの嬉しそうな笑顔に癒されました。本当にありがとうございました。(東京都市大学附属中学校・高等学校吹奏楽部 顧問)
- ・音響、照明、司会など専門家のお仕事に接し、生徒が貴重な体験をすることができた。イベントなどで呼んで頂けたら大変ありがたい。プロのお仕事に触れられた生徒たちは、幸せ者です。貴重な経験をさせて頂きましてありがとうございました。(東京都立深沢高等学校和太鼓部 顧問)
- ・素敵な動画に仕上げてください、本当にありがとうございました。早速、保護者・教職員に共有をいたします。今年度に入り、例年参加していた演奏の機会が次々と中止しているなかで、心より感謝いたします。現在、部員たちは8月10日に行われる吹奏楽コンクールに向けて猛練習の日々を過ごしています。いつも支えてくださる方々、そして新しい出会いにつなげてくださった皆様に感謝の気持ちをお届けできるように演奏したいと思っております。(国本女子中学校・高等学校吹奏楽部 顧問)
- ・テスト期間であまり練習できていませんでしたので、お役に立てたかどうか不安ですが、少しでも良いパフォーマンスをみていただけたのであれば満足です。今後と

も何かありましたらどうぞよろしくお願ひします。(筑波大学附属駒場中・高等学校 筑駒 Jugglers 顧問)

- ・感染対策もしっかりしてくださって安心して参加出来ました。他の団体と会わないようタイムスケジュールが工夫されていたのも素晴らしいと思いました。コロナ禍でイベント等が中止になっていく中で、日頃の練習の成果を披露する機会が欲しいですし、オンライン上で演技をすることでエールを送れることは私たちの希望でもあります。イベント等に出演する機会が減っているので、コロナ禍でも何か出来ることがあれば是非お声がけください！(S. S. Blue Bunnies 指導者)
- ・やはり無観客での実施、という点が残念以外の何物でもない。エールはリアルに感じたかったし届けたかった。久しぶりの現場に、みんなはしゃいでおりましてアクターの体調管理がうまくいかずご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。キッズ達のパワーに押されっぱなしでした笑。ご一緒できて本当に良かったです。(三茶わん担当者)
- ・コロナ禍の厳しい状況のなかで、演奏できたこと、世田谷区民をはじめ多くの皆様に発信できる機会をいただいたことに感謝します。スタッフの皆様のご苦勞に深く感謝を申し上げます。この度は大変にお世話になり、ありがとうございます。特にコロナ禍の厳しい環境下での演奏機会でしたので、参加団員も演奏できる喜びを深く感じておりました。コロナ禍により予定が延期を繰り返し、大変な状況ではありましたが、なんとか演奏できコラボも実現できました。ベイブルさんやワンダービーツの皆様には、つたない演奏に素晴らしいパフォーマンスを合わせていただきました事、心より感謝申し上げます。関係された皆様に、深く感謝を申し上げます。(世田谷区民吹奏楽団 団長)
- ・普段とは異なる、区のイベントに参加できたので新鮮でした。この度はありがとうございます。世田谷区の益々の発展を祈念しております。コロナが終わり、リアルイベントを安心して開催できる日を楽しみにしております。(WONDER BEATS feat. ティーチャーズ！代表)
- ・昨年、今年度とイベントの少ない中で、生徒達に一つでも記念に残るものを催していただき、非常に有難かったです。また機会がありましたら、是非ともよろしくお願ひいたします。暑い中撮影ありがとうございます。紆余曲折ありましたが、撮影の様子を見て、ここまで粘らせていただいて良かった…と感慨深い気持ちになりました。生徒達も最初は緊張していましたが、次第に楽しく踊ることができていて安心しました。撮影の皆さんの温かな雰囲気のお陰だと思ひます。携わってくださった皆様ありがとうございます。(東京都立桜町高等学校ダンス部 顧問)
- ・コロナ禍で、活躍の場が制限されている現状で、世田谷スーパーエールの意義や主旨を理解して、参加できたことは生徒たちにとって大きな成長の場となりました。今回は、校内での参加人数の制約もあったので、機会があれば次は中学生にも同じ経験をさせたいと思ひます。学校のHP上に今回のイベントのお知らせをアップして

おります。おかげさまで、在校生や保護者、昨年度の文化祭では発表作品の配信ができなかったので、部員の親せきや友人、卒業生など多くの方が関心を寄せてくださり、視聴していただいております。生徒の活動が多くの方にエールとなって届いていましたら、本当に嬉しいことです。身近なところでの感想では、熱心な取り組みが見られたことや飾らない素のままのパフォーマンスに高評価をいただき、顧問としても嬉しく感じております。準備の段階から本番まで、細やかなご配慮をいただき、最後の編集では更に完成度が高いものに仕上げてください、感謝申し上げます。ありがとうございました。スタッフの皆様が感染予防に万全な状態で臨んでくださったので、学校といたしましても生徒にとっても安心して撮影に臨めました。また、機会がございましたらご協力させてください。コロナが収束し、世田谷区やオリンピックのエールに繋がることを祈願しております。配信が楽しみです。ありがとうございました。(昭和女子大学附属昭和高等学校ダンス部 顧問)

3.2 めぐれ！世田谷の灯プロジェクト～世田谷ピースランタン～

(1) 目的

オリンピックが「平和の祭典」であることから、すべての人が、平和で安全・安心に暮らせる世の中になるようお願い、世田谷から世界へ向けてその想いを発信する。

(2) 事業内容

①概要

- ・東京 2020 大会開催の 2020 年は、区平和都市宣言 35 周年、世田谷公園「平和の灯」設置 30 周年、阪神淡路大震災から 25 年という節目の年であったことから、区民一人ひとりが「平和のあり方」、「安全安心なまちづくりのあり方」を再確認し、様々な災害からの復興を祈念し、平和の輪を区民全体に広げ、共有するための事業として検討が始まった。
- ・世田谷区の子どもたちに聖火リレーのように参加できる体験を提供し、東京 2020 大会を心に残るイベントとすることも目指した。
- ・世田谷公園の「平和の灯」と、復興の道半ばである被災地からの「復興の灯」を合わせ「世田谷の灯」を作り、平和と復興の願いを込めたランタンに灯し、多くの区民による手渡しで区内をリレーする。
- ・当初は 2020 年 6 月開催の予定だったが、コロナ禍の影響により延期となり、2021 年 10 月・11 月に実施した。

②採火・合火

- ・2020 年 3 月 11 日に宮城県南三陸町において、同町の佐藤町長の手により復興の灯を採火。オリンピック等の聖火輸送でも使われたハクキンカイロに火を保存し、世田谷区に持ち帰った。

- ・合火（二つの灯を合わせること）に先立ち、2020年11月28日に「復興の灯」と世田谷公園の「平和の灯」の“お見合いランタン”を実施した。
- ・2020年12月25日に、区役所中庭で実行委員長の保坂区長立会いのもと、合火セレモニーを開催し、「復興の灯」と「平和の灯」が一つとなり、「世田谷の灯」が生まれた。



点火ボタンを押す佐藤町長



佐藤町長（右）と事務局代表



お見合いランタンの様子



合火セレモニー

③イベント出展

- ・ピースランタン事業のPRのため、区内で開催されるイベントにランタンを展示する「おでかけランタン」を実施した。



Futakotamagawa Light It Blue Park (2020年9月19日、兵庫島公園)



小径のノエル (2020年12月19日、下北沢周辺)



東日本大震災追悼式 in 北沢タウンホール (2021年3月11日、北沢タウンホール)

④区内リレー

- ・緊急事態宣言の延長等により、二度の延期を余儀なくされたものの、2021年10月、11月の日曜日に区内5地域でのリレー開催が決定した。
- ・玉川地域(10月24日)、世田谷地域(11月7日)、烏山地域(11月14日)の3地域で実施し、参加者、保護者、ボランティアを含め、総勢約500名の参加者が世田谷の灯がともるランタンを手に行進した。
- ・10月17日の砧地域は雨天のため、10月31日の北沢地域は衆議院議員選挙投票日と重なったため、いずれも中止となった。
- ・区内に本拠地のあるリコーブラックラムズ東京(ラグビーLEAGUE ONE所属)、日本女子体育大学新体操部、株式会社ジェイコム東京調布支局、区内高校生らがボランティアとして参加し、子どもたちと一緒に歩き、交流を行った。
- ・ランタンカバーは実行委員である公益社団法人世田谷工業振興協会の協力により、子どもたちが安全に火を持ち運べるよう、軽量化などに配慮して制作された。



ブラックラムズの皆さん

ジェイコム of 皆さん



＜リレー参加者の声＞

- ・久しぶりのイベントで、子供はとても楽しんでいました。お手伝いの方々、ありがとうございました。また参加したいです。（烏山地域／小学校高学年）
- ・お天気も良く気持ちよく参加出来ました。ありがとうございました。（烏山地域／小学校低学年）
- ・延期になりどうなるかと思いましたが、できてよかったです。ありがとうございました。（世田谷地域／小学校高学年）
- ・いい運動になりました。楽しかったです。飛び入りで参加させて頂きありがとうございました。（世田谷地域／小学校低学年）
- ・世界平和を考えるきっかけとなりました。また参加したいです！（玉川地域／小学校高学年）
- ・久しぶりに地域のイベントに参加して楽しめました。（玉川地域／小学校低学年）
- ・なかなかないイベントでとても良いです。平和と復興を祈っています。（玉川地域／小学校低学年）
- ・準備大変だったと思います。コロナ禍にもかかわらず、開催して頂きありがとうございました。（玉川地域／小学校低学年）
- ・ラグビー選手とお話ししながら楽しかった。（玉川地域／小学校低学年）

⑤終灯セレモニー

- ・2021年12月19日（日）に、世田谷公園平和資料館前で本事業の終幕を飾る終灯セレモニーを実施した。
- ・保坂実行委員長、片平委員（世田谷工業振興協会会長）が参加。「復興の灯」を採火した南三陸町の佐藤町長からお寄せいただいたメッセージの紹介を行った。
- ・リレー実施時に各拠点で撮影した参加者の笑顔を集めたバックパネルを作成し、セレモニーで展示した。
- ・終灯セレモニーに先立ち、ミニランタンリレーを実施。中止となった地域の参加予定者を中心として、32名が実際にランタンを持ち、本番のリレーの気分を味わった。





<終灯セレモニー参加者の声>

- ・子どもが生きやすい社会になってもらえるといいなと思います。(保護者)
- ・豊かな日本になってほしい。(小学生)
- ・平和を考える機会はなかなかなかったのでよかったと思いますし、世田谷に「平和の灯」が灯っているのを知らなかったのがよかったです。(保護者)
- ・自分自身も海外とかで起きている問題を自分事として考えて向き合っていくことが(平和に)つながると思います。(ボランティアで参加した高校生)
- ・これから世界の地域問題などを解決するために、自分で何ができるかを考えながら、これからもボランティア活動をしていければと思います。(ボランティアで参加した高校生)

3.3 世田谷・綿花プロジェクト～彩ろう！ワタしたちの世田谷～

(1) 目的

世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンであることをPRするため、コロナ禍でイベントが制限される中、直接対面で行うイベントとは異なる形として、参加者が自宅にいながら SNS で繋がることで、一体感を味わうことを目的とした。

(2) 概要

- ・実行委員会の賛同団体であるメイド・イン・アース(株式会社チーム・オースリー)からの提案を実行委員会事業として実施した。
- ・コロナ禍により、人との接触が制限される中、自宅にいながら、和綿の生育状況を共有し、区民が同じ目標に向かって世田谷に元気を取り戻そうという企画として実施した。
- ・エシカル消費への理解促進を行い、その先にある SDGs への興味・関心を促すことも狙った。
- ・メールや FAX で申し込みのあった 200 名に綿花の種を送付し、各自が発芽の様子や生育状況を共通のハッシュタグ「#ワタしたちの世田谷」をつけて、SNS で共有した。

<インスタグラムへの投稿件数> 233 件 (2021 年 12 月 24 日時点)

- SDGs やエシカル消費をテーマとしたイベントで、来場者へ綿の種を添付したチラシ配布も行った。
- 公益財団法人せたがや文化財団国際事業部が運営する「クロッシングせたがや」と連携し、参加者が育てたワタや参加者や来館者がアメリカ選手団へのメッセージを記載したカードをツリーに飾った。(2021年12月1日～26日)
- 2021年12月4日に、参加者が育てたワタを糸に紡ぐ作業やエシカル消費について考えるオンラインワークショップを開催した。



ワタで飾るクリスマスツリーをクロッシングせたがやに設置

<綿花プロジェクト参加者からのメッセージ>

- ・真っ白な綿花に区民の希望をのせて！とても素敵な企画だと思います。皆で大きな夢を咲かせましょう！よろしく願いいたします。
- ・皆で種撒いて、芽が出て、花が咲いてフワフワの綿作って、笑顔になりましょー！
- ・自粛のおかげで家での楽しみ方の幅が広がった気がします。楽しみを共有することで、楽しみがさらに広がるのが楽しみです。
- ・ステイホームが続くなか、草花や木々に癒される毎日です。ふわふわの綿花に出会うのを楽しみに頑張って育てましょう！
- ・家庭科の授業で小学校6年生が栽培します。自分の着ている服の原料を確かめたいです
- ・初めての和綿の栽培に上手くできるか不安もありますが、大切に育てたいと思います。おうち時間を楽しく！それぞれの場所で同じ様に栽培されている皆さんのことを想い、いっしょに楽しめたら嬉しいです。

<オンラインワークショップ参加者の声>

- ・今回、参加させていただきありがとうございました。ある程度オーガニックコットンのことは知っていましたが、知らないこともあり、とても勉強になりました！また、こういった機会がありましたらぜひ参加したいと思いますのでよろしくお願い致します！
- ・とても勉強になり早速、翌日、アクセサリデザイナーの方や世界中で活躍されている友人に知識を教えることができ、大変喜ばれました！知らなかったことだったので、とても勉強になりました。と言われ今回、参加させていただいたので、再確認できたこともあり、改めて、もっとオーガニックコットンのことを出来る限り広めていけたらなあと思っております。また、ぜひ、こういった機会がありましたら参加させていただきたく思います♪

3.4 折り鶴プロジェクト～認知症当事者のための社会参加型プログラム事業～

(1) 目的

認知症の方が社会参加の一環として、東京 2020 大会のおもてなしに参画することで、認知症の方の生きがい創出や、人々の持つ認知症のイメージを変えるきっかけとすることを目指す。

(2) 概要

- ・実行委員会の賛同団体である世田谷区認知症在宅生活サポートセンターからの提案により実現した。
- ・認知症の方とその施設職員等の方々が折った折り鶴を組み合わせモザイクアートを制作。区がアメリカ合衆国のホストタウンであることから、アメリカ合衆国国旗と区の紋章の二つを図柄として採用した。

- ・日頃から認知症デイサービス事業所等では折り紙制作を活動に取り入れており、認知症の方にもなじみ深いことから、参加呼び掛けに対し、49ヵ所の事業所からの応募があった。

(3) 参加事業所から集まった声

- ・若い職員が鶴の折り方がわからないのを見て利用者の方に教わる場面がありました。
- ・「折り紙大好きなの、久しぶりに、鶴を折って楽しかったわ。」など、皆様とても熱心に折られ、あっという間にすべての鶴を折っていただきました。「自分たちが折った鶴が、オリンピックの役に立ててうれしい。」と、とても喜ばれていました！！
- ・高齢者の皆さまにも馴染みがあり、取り組みやすかったです。
- ・集中して取り組む時間が作れてよかった。使用した折り鶴がどのように使われたか、写真などももらえると嬉しい。
- ・スタッフで鶴の折り方がわからない人に利用者がレクチャーするなど、利用者もスタッフも楽しんで参加できました。
- ・初めは折り方を忘れており、職員が見本を折って見せると、思い出したようにテキパキと折り始めました。
- ・今回は、このような機会を与您いただきありがとうございました。ほとんどの方が認知症ですが、昔のことを思い出しながら折られておりました。皆さん「楽しい」と参加されていました。
- ・鶴を折るだけでは楽しむことはできませんが、パラリンピックの話題をしながら、誰かと「一緒に楽しむ」ことが大切だと思います。
- ・オリンピック、パラリンピックのための物を作れるということで、喜んで参加しました。
- ・枚数が少なかったので、物足りないとの声があったくらいです。
- ・“おもてなし”というテーマで折り鶴を通して、今回のオリンピックに参加できる事。それに向けて一体となれた事で皆さんが満足感を得て、良い刺激になりました。
- ・折り紙は身近な物で、慣れている方が多く、やりやすかったです。
- ・とても良い企画をありがとうございました。また、機会があったら参加したいです。
- ・東京オリンピックに関連したイベントに参加できるということが利用者のモチベーションにつながった。やりがいを持って参加できた。折り紙はみんな手が覚えていたから、すぐに取り組むことができました。
- ・社会参加の機会をいただけた事は皆さまも職員も大変嬉しく思っております。
- ・東京オリンピック、パラリンピックのお手伝いできて、喜んでいました。片手でもスタッフが手伝いながら制作できた。
- ・職員、利用者一同とても楽しく参加させていただきました。
- ・貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。”
- ・オリンピックにこのような形で参加出来て嬉しいとお言葉をいただきました。



ボランティアの方の協力による制作風景



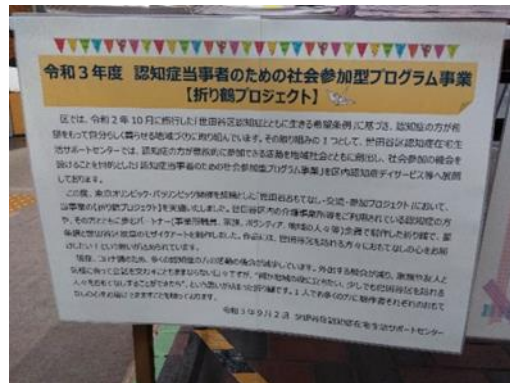
完成したアメリカ国旗と区の紋章



制作風景



プロジェクト参加事業所一覧



プロジェクトの説明



2021年9月2日(木)～7日(金) 世田谷区役所第二庁舎一階ロビーでの展示



2021年10月14日（木）～2022年1月5日（水）
大蔵運動場温水プール入口展示スペースでの展示



2021年11月6日（土） 世田谷区認知症とともに生きる希望条例
施行1周年記念イベント（日本大学文理学部本館地下1Fセンターホール）での展示



（※ボッチャイメージ写真）

2021年11月27日（土）ボッチャ世田谷カップ（大蔵運動場）での展示



折り鶴モザイクアートのアルバムと動画を USOPC にお渡し

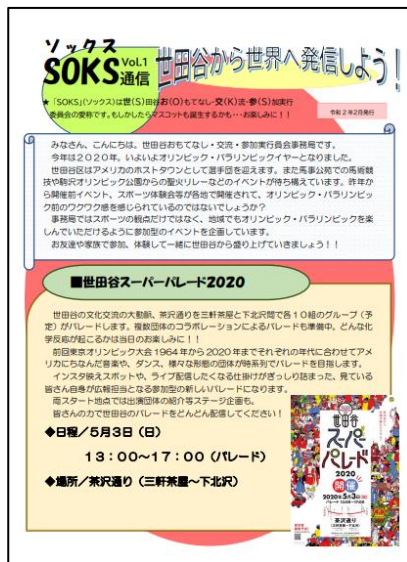
3.5 おもてなし実行委員会ニュースレター（SOKS 通信）

(1) 目的

実行委員会の賛同者や一般の区民に対し、実行委員会の活動内容やイベントの案内、事務局からの情報共有などを行い、おもてなし気運醸成を図る。

(2) 概要

- ・実行委員会事業や東京 2020 大会にまつわる内容取材し、ニュースレターとして 2020 年 2 月から 2021 年 9 月までは毎月、その後 12 月と 2022 年 3 月に全 22 号を発行した。
- ・世田谷 (S) おもてなし (O) ・交流 (K) ・参加 (S) 実行委員会の頭文字を使って、SOKS と命名した。
- ・世田谷おもてなし・交流・参加実行委員、実行委員会賛同団体へ配布、観光案内所 (SANCHA3)、まちづくりセンターや図書館等の区公共施設などに配架、ホームページ「エンジョイ！SETAGAYA」に掲載した。



3.6 ラジオ番組『世界に届け！世田谷おもてなしプロジェクト』

(1) 目的

世田谷区内のおもてなしを实践する人や現場をエフエム世田谷の番組として広く一般に紹介することで、おもてなしの気運醸成をはかる。

(2) 概要

- ・世田谷区内のおもてなしを实践する人や現場を取材し、毎週火曜日昼 12 時から 30 分番組として全 79 回放送した。